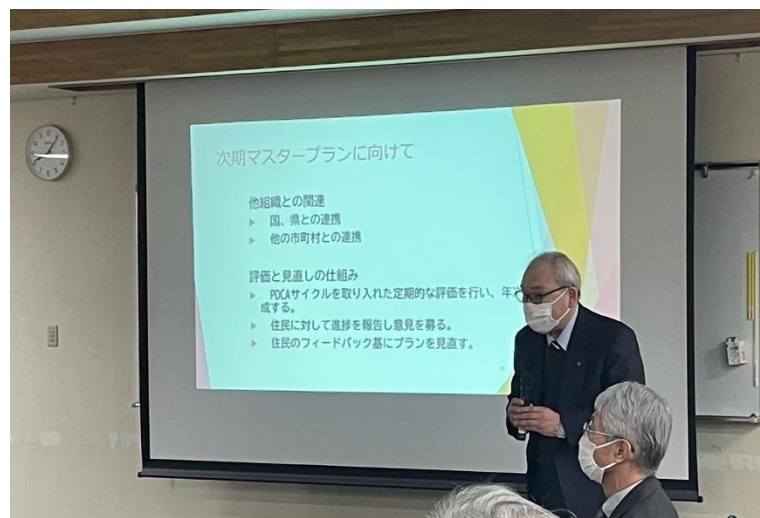


ジモトで座談会～市長と明日のまちを考えよう～ 庄内地区報告書

- 1 日 時 令和7年1月28日(火)午後6時から午後8時10分まで
- 2 場 所 庄内地区公民館 大会議室
- 3 参加者 16 人(町会長 15 人、庄内地区公民館長)
- 4 傍聴者 25人、その他関係職員
- 5 テーマ
 - (1) 松枯れ倒木等への対応
 - (2) イオンモールに往来する車両によるやまびこ道路の渋滞解消について
 - (3) 松本市都市計画マスタープランと庄内地区
- 6 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 地区代表者あいさつ
 - (4) 座談会(約120分)
 - (5) まとめ
 - (6) 閉会



7 テーマごとの内容

(1) 松枯れ倒木等への対応

「遊歩道に横たわる倒木」



「建物わきの枯れた大木」



「遊歩道わきの伐採木」



「展望台と折れた松枯れ木」



内 容	市長等から
・千鹿頭神社から展望台へ向かう遊歩道に、松枯れにより倒れた木が横たわっている。 ・倒木を山から搬出するまでの期間が長い。 ・町会役員による伐採対応が、高齢化により困難、危険になってきた。 ・松枯れ倒木の被害は増加傾向であり、地元の維持管理に課題が生じてきている。 ・協力団体による維持管理だけでは、困難であるため、それ以外の倒木対応を考えてほしい。 ・倒れずにある松枯れ木が、風に吹かれ今にも倒れそうになっていたり、社務所や電柱近くにも枯れた大木がある。 ・松枯れ木は倒木前に伐採してほしい ・枯れていない松には、継続して樹幹注入してほしい。  ・危険個所が沢山あるので「倒木に注意」という看板を立ててほしい。	・影響が大きく、危険度の高いものから取り組んでいるが、追いついていない現状。 ・森林環境課職員が、速やかに現地確認し遊歩道の確保作業を心掛けている。 ・車両進入できない場所のため、難しい状況だが、県事業の活用も視野に入れていきたい。 ・現状に追いついていない状況だが、追付けるような取組みを進めなければいけない。 ・遊歩道は優先的に対応しているが、森林の中は危険なため、立入らずに安全を確保してほしい。強風時には、入山を控える対応でやっていきたい。 ・特殊伐採になるため、業者と相談中だが、近々やっていきたい。立木にもたれかかって倒れている木についても、業者に依頼する段取りになっている。 ・効果が不十分であるため、やめる地区もある。担当課とよく相談していきたい。 ・見た目には枯れていなくても、既に、虫に侵された松は薬効がない。周辺が全部枯れている地域であるため、その可能性が高いと考える。感染から二年経過して枯れる「二年枯れ」の松もあるため、今後検討していきたい。 ・脇道含め遊歩道数が多く、設置個所が多くなるので、早期にできるラミネートの注意看板を、取付けるようにする。

追加発言

・平成 14 年の浅間温泉の山火事により、神田から開成中学周辺までニセアカシアが繁殖し、その花粉飛散により洗濯物が屋外に干せない状況。松枯れとあわせて対応してほしい。

・千鹿頭池周辺は、ニセアカシアもあるが、広葉樹が下から生えてきていて、緑に変わりつつある「天然更新」状態。山が更新しつつある状況のため、注視しながら対策を講じたい。

(2) イオンモールに往来する車両によるやまびこ道路の渋滞解消について
「やまびこ道路の渋滞」(筑摩横断歩道橋から望む北方面と南方面)



内 容	市長等から
・イオンモールの開業に伴い交通渋滞が発生(特に土日祝日)。 ・岡谷諏訪方面からの通過車両あり。 ・渋滞を避けようと幅員の狭い生活道路へ、車が進入することにより危険な状態。 具体的に4路線(出川浅間線、小池平田線、林豊田線、松本塩尻線)を挙げて、現状説明。 	・市も問題意識を共有している。 ・庄内地区のみならず、市南部から中心市街地へ入る交通の状態を改善することは極めて重要。 ・4路線について、現状と見通しの説明あり。 ・中心市街地へ入らなくてよい車が、迂回できる環状線の整備をより進めていきたい。 ・できること、何ができるかということに思いを巡らせ対応していく。現実的にできることを進めていく。目に見える形を市民に見せていく。 ・一気に進まないが一步一步前に進んでいるということ、共感して進めていければと思っている。
追加発言 ・松本塩尻線(神田保育園から薄川まで)の歩道整備について (1) 岡谷諏訪方面からイオンモールへ向かう車両が多く通過している状況説明。通学路でもあるため早期実現を要望。 (2) 北から林豊田線(筑摩の法祥苑の通り)へ右折する事業系大型車両による渋滞の状況説明(右折レーンがない)。	・要望順位を上げて県に要望中である。 ・歩道整備には、地権者の理解が非常に大事。合意形成を市とともに進めていただきたい。 ・都市施設の充実を図るため努力していきたい。
追加発言2 ・逢初橋の架け替え工事の進捗状況はいかがか。また、いつ頃完成か。	・逢初橋は、交通を確保しながらの架け替え工事になるため、道路を拡幅する工程が必要。そのため新橋設置の場合に比べ、時間とお金がかかる。目標をもって、なるべく早く到達するように進めているが相手があるので、早く進むことも、予想以上に時間がかかることもあるが、しっかりと目標に向け、歩みを続けたい。

(3) 松本市都市計画マスタープランと庄内地区

	市長等から
・松本市都市計画マスタープランを軸に庄内地区及び松本市全体の課題と、これからについて意見交換。 (1) 人口減少と高齢化 (2) 住民の参加不足  (3) 交通インフラの不足、老朽化	・マクロな視点から見ることで、色々な取り組みを見出していけると思った。 ・プランの作成プロセスが、従来のものだと、必ずしも大勢の市民に関心を持ってもらったり、その声をくみ上げながら進めるようには基本的になっていない。 ・地域の皆さんに、目指す方向についてお示しし、そこに向かっているか、本来の進め方をしているかということを、代表が参加する形で議論し、自分たちの意見も、地域の政策決定に活かされているという思いを持っていただくようにしたい。 ・バス路線など公共交通を、持続可能なものにするため、一昨年としかから、従来より公費の投入額をプラスしている。今年は料金体系について、どうするか結論を出していきたい。 ・路線バスは幹、オンデマンド交通は枝葉部分と考え、幹をしっかりさせながら、枝葉の部分充実させたい。 ・住民の皆さんが、計画、決定及び修正にかかわっているから、協力しようという気持ちになっていただける。そういう循環を作っていきたい。
・マスタープランは極めて重要。住民参加の機会を増やすとともに周知にも力を入れてほしい。	・マスタープランは、一言でいえば、コンパクト&ネットワーク。道路網も情報網も、コンパクト

	ネットワーク。松本市は、一極集中でなく多極集中を、20 年先の松本市の姿として思い描いている。地区の特性を生かした取組みを住民参加のもとに進めて参りたい。
--	---

(4) 閉会にあたって市長の感想

・ ありがとうございます。 2 時間が、あっという間に過ぎたと、私自身感じました。非常に厳しい現状と課題に対して、その中で何ができるのかという具体的で前向きな提案もいただけました。60点、65点、70点、75点、80点と、市役所が市民の皆さまから少しでも高評価を頂けるようにしていきたい。そして、高齢社会だからこそ、人口アンバランスのもとで、若者や子育て世代のニーズに応えていく、そういう必要性を指摘いただきました。私も常々、その意識を持って取り組んでいるところでございますが、人が集い、街が賑わい、賑わいが活力を生み出す。そういうことが、これから一緒にすべての世代の人々が、豊かで幸せな暮らしができる、豊かさと幸せを実感できる街につながるという気持ちで、これからも進んでまいりたいと思いますので、引き続きのご支援ご協力よろしくお願いいたします。ありがとうございます。
--

